

テーマ：『 PTAとともに進める環境教育 』

平塚市立 大野小学校

Tel. 0463-55-1065

担当者： 大津 匡



■ **実践内容:** クールビル→(校舎の南側の花壇にアサガオとゴーヤの2種類のつる性植物を植え、日光を遮る「緑のカーテン」を設置するために、ネットを張る。昨年の1箇所(アサガオ)から今年度は助成金を活用し、アサガオ1箇所・ゴーヤ2箇所に増設した。<19年6月上旬に校舎の南側花壇の一角に、つる性植物「オーシャンブルー(アサガオの突然変種)」を定植し、3階の音楽室まで(約8m)幅1.5mのネットを張り、植物を這わせた。12月には翌年のために指し芽で苗を育てることとした。苗も順調に育ち、今年度のクールビルは委員会の児童を中心に行った。更に、今年度は校長室前と6年1組の教室の前にネットを張り、ゴーヤを這わせた。雨水タンクをPTAの役員の協力を得て設置した。(雨水を利用することで、水道水の節水の取り組みを始めた。クラスやフラワーボランティアが育てている植物への水やり、運動場ラインを引くときに水道水の代わりに雨水タンクの水を利用する。)助成金でプラクル用のゴミ箱を購入し、ゴミの分別をしやすくした。

■ **実践成果:** クールビルで恩恵を受けたクラスでは、直射日光を遮った快適な環境の中で学習に取り組むことができたばかりでなく、身近な環境について見直す機会を得ることができた。雨水タンクの活用では、節水そのものがなかなか目に見えないが、雨水タンクの水を活用するたびにタンクの水量が減ることで、節水に貢献していること実感させている。(雨水タンクにテープを貼ることで水量をマークしている。)給食のパン袋や教室から出るゴミの中でリサイクルできるものとできないものを分別する意識が育った。(低学年児童)

■ **実践ポイント:** 効果や成果を目で見える形に表す工夫をすれば、更に意識の高まりが期待できると考えた。アサガオやゴーヤの「緑のカーテン」は、来年度は自分のクラスでも取り組もうとするクラスが増えるように考えた。樹名板の設置(平塚市博物館学芸員に來校してもらい、校内の樹木の名前や活用法等を教えていただいた)や給食の残量の肥料化等、予算等の関係で実施できなかった事も次年度への取り組める下地を作るように努めた。